# GENJI progress report

新沼浩太郎(山口大学) on behalf of GENJI collaboration

## 背景



## **GENJI** Programme (2010 Nov -)

(Gamma-ray Emitting Notable-AGN monitoring by Japanese VLBI)

VERAを用いて10個のガンマ線AGN (DA55, 3C84, OJ287, M87, PKS 1510-089, DA406, NRAO530, BL Lac, CTA102, 3C454.3)をおよそ

2週間間隔でイメージングモニター ※緑色は電波銀河、残りはブレーザ

#### 参考(類似のプロジェクト):

MOJAVE: 約200天体を1~3ヶ月間隔 でモニター(VLBA@15 GHz)

Boston U.:約30天体を~1ヶ月間隔で モニター(VLBA@43 GHz)

> VERA array,  $\theta$ ~ 1 mas @ 22GHz

## GENJI Collaboration (2019) ■ これまでの成果

PI: 新沼浩太郎 (山口大)

Co-PI: 永井洋 (NAOJ/ALMA) Co-PI: 紀基樹 (工学院大/NAOJ)

Co-PI: 秦和弘 (NAOJ/VLBI)

秋山和徳 (MIT-Haystack/NRAO),小山翔子 (ASIAA), 澤田-佐藤聡子(山口大), G. Orosz (UTAS), 輪島清昭 (KASI), 本間希樹, 柴田克典 (NAOJ/VLBI), M. Orienti, G. Giovannini, M. Giroletti (IRA-INAF), R. Lico (MPIfR),

平野あゆみ(山口大M2),

計16名(うち学生1名)

青字:最近所属が変わったメンバー

#### 【学術論文(投稿中・準備中含む)】

Nagai+13 (PASJ 65, 24), Orienti+13 (MNRAS 428, 2418), Hada+14 (ApJ 788, 165), Hiura+18 (PASJ 70, 83), Orienti+ (in prep., BL Lac), Niinuma+ (in prep., DA55), Hirano+(in prep., 3C84)

#### 【学位論文 - 教育的成果】

博士論文: 日浦 (2016, 北海道大)

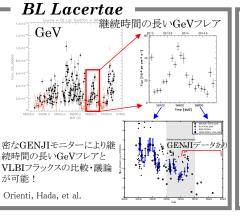
修士論文: 東海大/NAOJ (1)、山口大 (2)

学士論文: 山口大(7)

### 【その他】

- 波長横断的・国際的コラボレーションの展開(天体は少ない がVLBIで高い時間分解能を実現)
- KaVA/EAVN~拡張(e.g., M87 by KaVA LP)

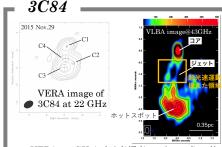
## 最近の成果



## DA55GeV VLBI ガンマ線( F)および電波(多周波 右上)の同時期の光度曲線

- 2013年、2014年の巨大ガンマ線フレア時期の高 頻度電波データ取得に成功!
- VLBIデータによって、フレアの空間的発生位置 (電波コア内)の議論が可能

Niinuma, D'Ammando et al



- VERA@22GHzによる高頻度モニターでC4の特 異運動を検出
- より高い分解能のアーカイブデータを精査した結 果、電波コアから0.7pc下流に至る領域で超光速 運動成分を初めて発見!

## 現狀.

- VERAプロジェクトのご協力のもと、約9年間継続
- □ メンバーの入れ替えによる体制の変化 GENJIを主軸に研究を進める若手の不足(学部 or 修士まで)
- 現状の対象天体全てをintensiveには難しい VERAプロジェクト観測の状況に依存(当初から)

## 今後にむけて

- □リソースの集中
  - \*特に興味深い天体に絞る(VERAプロジェクト観測との兼ね合い)
  - 一部はKaVAなどでの観測に移行 (M87: KaVA/EAVN LP, PKS1510: ESTEMAとのコラボ)
  - \* EHTやKaVA/LPなどと相補的なデータの取得
- 興味を持つ若手(学生)を複数のシニアでケア 例:3C84で研究を進めた学生を永井、紀で手厚くサポート(学術論文受理)